## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

06-140816

(43)Date of publication of application: 20.05.1994

(51)Int.CI.

H01P 5/107

(21)Application number: 04-269982

(71)Applicant: MITSUBISHI ELECTRIC CORP

(22)Date of filing:

08.10.1992

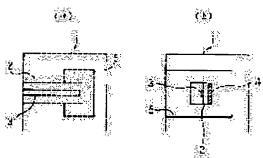
(72)Inventor: SAKURA TAKESHI

## (54) WAVEGUIDE/MICROSTRIP LINE CONVERTER

## (57)Abstract:

PURPOSE: To prevent electric characteristics from being degraded by the defect of soldering by fitting a microstrip line, for which the back face of a dielectric substrate is not metalized, to a conductor chassis with an adhesive agent.

CONSTITUTION: A dielectric substrate 2 provided with a microstrip conductor 3 is fixed to a conductor chassis 1 by an adhesive agent 4. Therefore, the electric characteristics can not be affected by the increase of reflection caused by soldering leakage to a waveguide 5 or the increase of a loss caused by resonance at a gap between a ground conductor and the conductor chassis as a problem in the case of soldering a substrate with back face metalized. Since soldering is not used for adhesion, heating is not required, assembly is enabled even in the case of combination with a device weak for heat, and workability is improved. Further, since the dielectric substrate with the metalized back face is not used, a metalized ground conductor is prevented from being peeled and disabling the use even when the microstrip line is repeatedly fitted again.



## **LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

と、上記録電体基板の表面に設けられたマイクロストリップ場体を、上記場体シャーンに上記録電体基板を提出する接近 利とで構成したことを特徴とする明波管/マイクロストリップ場路変換器。 「胡木田子」 場体ケッーンと、上記場体ケーンに加工された場致管と、上記場域管にその先端を修入した時電体基位 と、上記録電体基板を表面の表面に設けられたマイクロストリップ場体と、上記場体シャーンに上記録電体基低を修分する修設・ 準利の日本を一定にできるように一たことを特徴とする場がディイクトリップ場体と、北記域では一、北記等は体基低を修改する修設・ ・ 「胡木田子」 に記録電体基板を上記場体シャーンに取けけられた支持台とで構成され、上記支持台により即記の修 ・ 「胡木田子」 に記録を指を上記場体シャーンに加工された場波管と、上記場体シャーンに上記録電体基値を修分する形 利とて構成され、上記録を指を上記場はトライフストリップ場体を、上記場体シャーンに上記録電体基値を修分する定を を特徴とする場談室/マイクロストリップ場体を、一記場体シャーンに上記録電体基値を修分すること 「胡木田子」 はなシャーンと、上記場体シャーンに加工された場波管と、上記場体をでしる整成の個を有すること 「胡木田子」 はなシャーンと、上記場体シャーンに加工された場域管と、上記場体シャーンに上記録電体基値を修分すること 「お牙田子」 に記録音体基体表板表面のマイクロストリップ場体を並け下が到ティクロストリップ場体を発して上記場は本機をできたができた。 「毎年のことでは着間の厚みによる形容をののマイクロストリップ場体を並けた的対にして上記場体タャーンと 「毎9の詳細なは影明

【発行図】日本図移掛庁(JP) 【公開場別】公開特券公報(A) 【公開場号】 4億附平6-140818 【公開日】 年の年(1994)5月20日 【発明の名称、現設管イマイクロストリップ視路度機器 【国際特勢分類第5億】

**【産業上の利用分野】この発明は、マイクロ波およびミリ波において伝送線路のモード度債器として使用される母波智/マイクロストリップ線路変換器に関するものである。** 

「従来の技術」図5(a)は図8に示す環波をフマイクロストリップ総略変換器のA-A・断図図、図5(b)は図8の B-B・節菌図、図5(c)は図6のC-C・節菌図である。図5において1は男体シャーシ、2は機管体基低、3はマイクロストリップ場体、5は場波管、8は増色場体、8は半田である。 (0003)従来の導流管/マイクロストリップ機能関係は、3体ンセーショにマイクロストリップ場体3と関係を含する経験体基低2を行ってトリップ場は3位機では、3の00~3を含する経験体基低2を接着する際に、3の0~3

[目的] 取付け作業に起因する電気体性の劣化を防止し、常温で容易に取付け作業ができる導波管/マイクロストリップ時路変換器を得る。 7時路変換器を得る。 [構成] 要固に接地場体のない誘電体基版を場体シャーシに検査剤によって取付けるようになっている。

[井理士] [氏名又は名称] 凉田 (57) [聚約]

「毎明が解決しようとする課題」図5のような母波管/マイクロストリップ組務度換器では、単田の母波管部分への温れ出しによる反射の地大や倍地母体と母体シャーン間にできる時間での共振により損失が増加することがあった。また、貼った。ティイスと組み合わせて取けなければならない場合、単田の機関や体薬原序に制約があり作業性に問題があった。もらに、そうに、スイクロストリップ組織のつけ匠しをする場合にメタライズされた(接地母体が関がれてつけ匠しができないことがあった。

5〕この角明は上記のような課題を解決するためになされたもので、母波管ノマイクロストリップ信器政役製にマイクロストリップ得路の取付けを国路化して作案性をよくし、変換器の電気特性を安定したものにすることを

「開題を解決するための手段」この発明に係わる一実施的のほ波管/マイクロストリップ度復襲は、誘導体基位の設固を メタライズしていないマイクロストリップ総路を指着がにより場体シャーシに固定することで、場波管への単田の認れ出 と、後地球化を様と様とかイーシ間での共慢を防撃であるものである。更に、加熱することなくマイクロストリップ機器を繰り返しつけばっこんができるので体験性の向上にもつながものである。更に、加熱することなくマイクロストリップ機器を指り返しつけばったのができるのでは発性の向上にもつながものである。 (0007) また、この発明の第2の実施的では第1の実施例の場及をママイクロストリップ機器変換器において場体シャーシに誘導体基格を固定する部分に数か所の支持もを設けることで接着図の偏みを一定にし、予め修算的の誘導やを考していれている。また、この発明の第2の実施例では異なるマイクロストリップ機器変換器において操作表で表があことにより特別変換は、第1の実施例の場接をマイクロストリップ機器変換器において接着利を経験を不なからことにより特別変換は、第1の実施例の場接をして、 イクロストリップ機器変換器において接着利を設置体基板に設けられたマイクロストリップ機器変換器に、第1の実施例の場接をして、 イクロストリップ機器変換器において接着有き器電体基板に設けられたマイクロストリップ機器変換器に 10008]また、この条明の第4の実施例では最終をフィイクロストリップ保険を検験は、第1の実施例の場段をフィイクロストリップ保険を検験は、第1の実施例のは設定とマイクロストリップ保険を検験においては各額を関係を必要をです。10008]また、この条明の第4の実施的では各額を発展しまる。100081

【作用】この角明における母女管/マイクロストリップ樹脂皮換器は英面をメタライズされていない諸電体基位と母体シャーシを推着剤で固定することにより、作業性の悪きを解消し、環気特性を安定にしたものとする。

及ぼず態をなくすことができる。更に、(格部に作したいために加めの必要がなく、動に弱いデバイスと組みを 中性た核硬でも傾れてもことができる。更に、(格話に作したいために加めの必要がなく、動に弱いデバイスと組みを 権力をしていましています。 間の12) 薬師切2、図2は上記英語切1において母体シャーショと観像体器値3の間に支持台を加えた場合の実施 目の12) 薬師切2、図2は上記英語切1において母体シャーショと観像体器値3の間に支持台8を加えた場合の実施 目の12) 薬師の2、図2は上記英語切1において母体シャーショと観像体器値3の間に支持台8を加えた場合の実施 日の5年が20分分、図2(6)は図61元才は姿容イケイのストリップ特略表数機のAAA・断回図。図2(b)は図 日の6日・野商図。図2(c)は図60元~で、断回図である。この場合には、支持台6のかに移布利の日本を一に にすることができ、16者個のば5つきによるインピーダンスの変化をなくすことができる。辺に、手の16者利の日本を一て にすることができ、16者個のば5つきによるインピーダンスの変化をなくすことができる。辺に、手の16者利の日本を一て にすることができ、16者個のば5つきによるインピーダンスの変化をなくすことができる。辺に、手の16者利の日本を一て にすることができる。2012、もの12年のまたがは、18号体を目としてものである。2013、手の16者利をの課題 サタンを変えることもで専用度よく投射することが可能できないをしています。 「0013) 薬施切3、図3は上記英語例1において16者利をイクロストリップ母体の文下を組けてつけた場合の実施 の50日・16回図。図3(6)は図6の50年(6 時回図204)は図6の日と 16回図。図3(6)は図6の50年(6 前回図204)の12年(12日の12年)の12年の12年の12年の12年)の12年

我 タイクロストロッグ等後

紅泉野河 强多数 (节

4年4万姓後に 经被存货税

3

) 英格例4. 図4は上記英路所1において接着剤4を誘電体基施2の表面のマイクロストリップは体3を避け合の実施例を示す図であり、図4(e)は図6に示す導送を/マイクロストリップ組路或換数のAーA、断面

http://ipat.hon.melco.co.jp/ipat-cgi-bin/G104A\_kouhou\_meisai\_doc.exe?HTML\_FIL... 2003/07/28

http://ipat.hon.melco.co.jp/ipat-cgi-bin/G104A\_kouhou\_meisai\_doc.exe?HTML\_FIL... 2003/07/28

[イルタトオルスの師師] [JM牝項1] - 場体シャーシと、上記場体シャーシに加工された得波管と、上記得波管にその先摘を挿入した誘電体基板

パーソ 8/1

MIPAT/IPシステム:明細書(日)特開平06-140816 公開特許公報 [1994/05/20]

MIPAT/IPシステム:明細書 (日)特開平06-140816 公開特許公報 [1994/05/20]

```
図、図4(p)は図6のB-B、路図図、図4(c)は図6のC-C、路図図だめる。この場合は、誘続件基格2と時件シャーシュとの間に抽券層が生じないため接着層の厚みのばらりきによるインピーダンスの変わや積券層による誘続件機の場がきなくチェとができる。
```

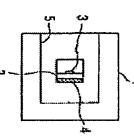
)このように、この免別による母姿を/マイクロストリップ総路変換器は、誘電体基板の裏面をメタライズ/クロストリップ総路を投発剤で現本シャーシに取付けることにより、単田グけの不良による気気特性の劣とができ、安定した特性を得る母がり阻止せる。また、温度を上げずに取付けることができるので、熱に顕化されずに対けれることができるので、熱に現れ合わせたままでつけ区すことも可能となり、作業性の向上にも役立つ。

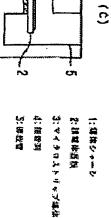
)規則による環接管マイクロストリップ組設度機器の実施向1を示す図である。 19時による環接管マイクロストリップ機器度機器の実施例を表示す図である。 19時による環接管マイクロストリップ機器度機器の実施例3を示す図である。 19時による環接管マイクロストリップ機器度機器の実施例3を示す図である。 19時による環接管マイクロストリップ機器度機器の実施例4を示す図である。 の環接管/マイクロストリップ機器度機器を示す図である。

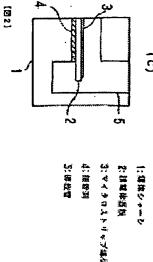
母弁がキーや 認母弁拠符 マイクロストンシブ母弁

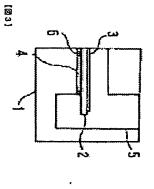
(M) æ

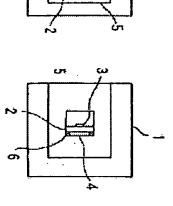
9









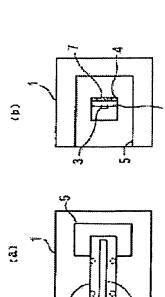




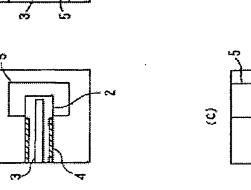
http://ipat.hon.melco.co.jp/ipat-cgi-bin/G104A\_kouhou\_meisai\_doc.exe?HTML\_FIL... 2003/07/28

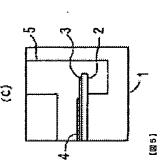
( **a** )

MIPAT/IPシステム:明細郡 (日)特開平06-140816 公開特許公報 [1994/05/20]









建筑掛片

